

# 令和5年度事業計画

## 1 事業計画方針

高知市老人クラブ連合会は、昭和36年に設立され、今年で創立62年目を迎えました。この半世紀を越える歴史の中、老人福祉法に拠る団体として『健康・友愛・奉仕』を理念に様々な活動を通じて、地域福祉推進の一翼を担ってまいりました。

しかしながら、長期化する新型コロナウイルス感染拡大により、社会経済活動が沈滞することとなり、老人クラブ活動においてもコロナ禍前のような活発な集いや交流会は制約を余儀なくされております。一方で、政府は、令和5年5月8日に今の2類相当から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方針を決定するなど、その対応に変化も見られるところです。

このような中で、市老連の会員数は、新規クラブの設立も少なく、近年減少の一途をたどっており、より一層の地域老人クラブの活性化や、魅力のある市老連活動が求められております。

また、事務局組織のガバナンス強化や業務の効率化を進めるとともに、会員の拡大や会長等役員の後継者となる若い人材を確保するため、パソコンやスマホ対応のホームページを充実し広報活動をさらに推進してまいります。

## 2 市老連の主要事業の実施

市老連の活動は、「地域活動」、「市老連の活動」、「憩所活動」の三本柱で構成されています。

これらの事業は、市老連の中心的活动内容であり、会員等の健康づくり、生きがいや仲間づくりのために継続実施します。

### (1) 地域活動の推進

#### ① ブロック活動の充実

ブロック活動は市老連を構成する大きな柱です。市内20ブロックでの活動は、それぞれの単老がブロック単位でまとまり、連携できる組織として大切な活動単位となります。

地域のリーダー役が集い、研修や協議をする貴重な場となることから、今後とも継続発展させます。

全てのブロックで、市老連のブロック強化費を活用して研修会を開催しましょう。ブロック研修会に対し1万円と1単老あたり1,000円の支援（年度内1回）が受けられます。（例：ブロックに5クラブあれば15,000円）

## ② 地域老人クラブの活動

老人クラブの活動は、市の補助を受けて行う健康・友愛・奉仕などの活動と、会員の会費や寄付金等の自主財源で実施する自由な活動があります。

老人クラブは、地域に根差した存在であり、その活動を通して地域住民に親しまれる団体として、さらに社会的評価をしていただける団体として、精力的に活動しましょう。

老人クラブが元気になり活性化すれば、結果的に地域も市老連も元気になります。そうした地域住民に理解と感謝される活動を積極的に行います。

## (2) 市老連活動の推進

### ① 専門部活動

本年度も6専門部・役員・事務局が一体となって、各事業を推進します。  
(専門部：女性部、友愛活動部、保健体育部、成年部、文化・事業部、独身者友の会部)

- ・ 社会奉仕活動
- ・ 地域リーダーの養成
- ・ 健康推進事業
- ・ 友愛活動事業
- ・ 広報事業
- ・ 学習活動
- ・ 研修・生きがい・交流事業
- ・ 交通安全推進事業

### ② 広報活動

ホームページのリニューアルに伴い、イベント情報や各種講座案内等が適宜更新できるようになりました。また、各地域老人クラブの活動も多数紹介することが可能となったことから、本年度から各クラブの活動状況を随時紹介していきます。

### ③ ろうれんピック参加に対する交通費支援

県老連主催のろうれんピックは、市老連として参加を奨励しているスポーツ大会であることから、参加するためのタクシー等交通費について、事前申請により市老連独自で助成することとします。

### ④ 健康まつり

令和4年度と同じく、市内中心部において、医師の講演会を柱とした事業内容とします。(令和4年度は高知会館にて医師の講演のほかに脳トレ・体操や健康相談、生活相談を行いました。)

### ⑤ 健康ウォーキング

年2回春と秋に実施することとしています。令和5年度も従来の鏡川周辺のウォーキングコースに、春野総合運動場敷地内のクロスカントリーコースを加

えることとし、マイカー等の交通手段を持たない参加者については、バスを借り上げ送迎することとします。

#### ⑥ ミニデイ事業

閉じこもりがちな高齢者や、出られないことはないが病弱な高齢者を高齢者同士で誘い合い連れ出し、自らの健康寿命を延ばすための高齢者同士のサロンの集まりです。百歳体操やいろいろな趣味の講座や健康づくりの話などをすることによって、楽しいふれあいの中で生きがいを感じ、寝たきりや認知症を防ぐことを目的としています。

#### ⑦ 特別企画事業

デジタル社会の進展は、高齢者の暮らしにも大きく影響してくることが予測されます。とりわけ、パソコンやスマートフォンの活用が生活には欠かせない状況が来ようとしています。そういったことから、会員の皆さんから要望をいただいているスマホ教室やパソコン講座の実施可能性について検討します。

### (3) 憩所活動の推進

憩所事業として、60歳以上の高知市民を対象として、定例講座34、自主講座38合わせて72講座を下記の場所でそれぞれ開講します。

受講生は、多様な講座の中から自分に合ったものを選択し、月2回の授業を受けることによって、生きがいや仲間づくり、健康づくりを体現します。憩所事業では、そのお手伝いをしていきます。

- ・ 南部健康福祉センター：憩所事業及び特別行事
- ・ 西部健康福祉センター：高齢者いきいき事業
- ・ 春野あじさい会館：定例講座事業
- ・ 高齢者ふれあいセンター（塩田町市保健福祉センター）：定例講座事業
- ・ 東部高齢者いきいきセンター（市東部健康福祉センター）：定例講座事業

憩所特別行事では、近くの保育園児との世代間交流、戦争を語る会、囲碁・将棋大会等多彩な行事を開催します。

